

平成31年度(学童野球)オレンジボールの規定に関する件

◎参加資格は、3年生以下の小学校の児童とし、スポーツ障害保険に加入済みの選手で構成されたチームで出場とします。チーム構成が単独チームで構成できない場合は、隣接するチームとの混成チームとしての参加を認めます。参加する選手は保護者の自署の了承を受け、監督が認印をしたチームで1枚の参加承諾書を提出して下さい。

◎競技運営上の細則(大分県下統一の取り決め事項)

- ☆試合に使用するボールは、軟式Dボール(通称:オレンジボール)とします。
- ☆試合回数は、5回としますが5回に満たなくても90分を経過した時は、新しいイニングには入りません。
- ☆5回を終了した時点で同点の場合は、9人で抽選(○×くじ)とします。
- ☆決勝戦は時間制限を設けませんが、5回終了時点で同点の場合は1回のみ特別延長戦(無死、1.2塁、継続打者)を行います。その後は抽選とします。
- ☆3回以降9点差がついた場合はコールドゲームを適用します。3回に満たなくても18点差がついた時点で試合終了とします。
- ☆1イニング9得点でアウトカウントに関係なくチェンジとします。日没並びに途中雨天の場合は、3回終了時点で成立となり試合終了とします。
- ☆競技場は、各塁間18.29m、投手よりホームプレート間13.11m(ソフトボール区画線を使用)とします。
- ☆フェアグラウンドでの飛球(フライ)の処理については、内野手及び外野手が捕球すればアウトとなり、落球はセーフとします。フォースプレイ、タッグプレイも捕球しなければアウトとはなりません。
- ☆ファウルグラウンドでの飛球(フライ)の処置については、捕球はアウト、落球はファウルボールとします。その時点で塁上の走者は元の塁に戻ります。
- ☆走者の盗塁、打者のバンド及びブスクイス、走者のタッチアップ、ヒットエンドラン並びにバッテリー間のパスボールでの進塁は認めません。死球はあります。
- ☆打者は、審判員が第3ストライクを宣告した場合は、アウトとなり、四球を宣告されると安全に一塁に進塁できます。
- ☆インフルドフライは宣告されます。その場合は走者は元の塁に戻されます。
- ☆内野手等の暴投などの悪送球については、一つ進塁ができます。
- ☆走者は、投手の投球(リリース)と同時に離塁は出来ませんが、3歩程度進んで一旦静止し、打者がフェアボールを打った時点で次の塁へと進塁することが出来ます。離塁が大きい場合は塁審より注意を受けます。
- ☆投手は、1日5イニング、1試合のMAXは3イニングしか登板できません。決勝戦での投手は、特別延長戦を含みMAX6イニングしか登板できません。
- ☆投手の投球を打つ打撃とし、ベースは移動式、外野への打球は原則フリーとします。(柵がある場合60m柵を超えた場合ホームランとします。)
- ☆ランナーコーチは、大人か5年生以上の上級生でおこないます。
- ☆スライディングは認めます。打者はヘルメットを着用し、捕手は捕手用ヘルメット、プロテクター、レガースを着用してください。
- ☆ユニフォームは混在で出場は可能ですが、背番号は重複しないようにして下さい。帽子を着用し、靴はスパイク又は運動靴でも可能です。
- ☆先発メンバー9人に限り、1度だけ元打席時のみ再出場(リエントリー)として戻れます。